

富士紀行 (77) かかる教官ありき！ (教官讃歌) (H13/7/2 記)

梅雨が終わったような感があるここ数日、富士山の山開きも、富士学校の3尉候補者課程 (SLC) 学生の3等陸尉任官・卒業も無事に終了した。須走浅間神社では前夜祭として、雅楽と舞が奉納され、久々に古典に親しむ機会を与えて貰った。あるSLC課程は、富士山5合目で御来光に幹部任官を報告すると共に、幹部としての道を雄々しくあるく事を誓った。他の課程学生は浅間神社に参拝した。教官にとっても思い出深い一時である。

富士学校には、普通科部、特科部、機甲科部の3部合わせて教官職を命ぜられている者が班長、陸曹教官を含め227名いる。ある者は訓練教官、戦術教官というように職務に応じて呼ばれる。

さて、そのような教官の中から各部一名ずつ名(物)教官を紹介しよう。選考は小生の偏見と独断によるものであって、各部には責任がないことを予めお断りしておきたい。内容については関係者からの情報提供による。富士学校の教官の情熱、意気、生き様の一端を感じて貰えれば幸いである。「自分は〇〇塾(〇〇学校)の門下生である」と誇らかに学生から言われるそんな教官が大勢いる。

第一回目に採り上げるのは機甲科部の訓練教官、M2佐である。名前の紹介は最後に実施したい。小生も何回か彼の訓練指導状況を視察したが、簡潔にして要点を押さえた現地での当意即妙の指導は素晴らしいものがある。彼は決して学生案の欠点をあげつらうのではなく、良さを認めつつも若干の問題点があることを理解させるコツを心得ている。学生が『納得!』と言った顔をする時、彼も嬉しそうである。

彼の教官ぶりを端的に示すエピソードを幾つか紹介しよう。

● 役者になりきるM教官

機甲科AOCの戦車中隊訓練「攻撃」に研修学生の指導教官として参加していたM2佐は、担当教官から演習大隊長を命ぜられ学生の相手をする事になった。現地に於ける大隊長の構想示達、命令下達等ベテラン教官らしく無難に進めていく。ところが夜間実施した戦闘予行において役者に成りきったM2佐は、企画教官が準備したシナリオ以上に状況中の人となって迫力ある命令下達、戦闘予行を始めた。学生は感動するがシナリオにない部分になると第3係として対応を求められた企画教官はタジタジの連続で恨めしそうにM2佐を見つめるがもう止まらない。当然の事ながら教育終了後非難轟々であったことは言うまでもない。

● 教育魔、教え魔のM教官

学生教育が大好きなM教官、教務係幹部でありながら常に教官として現場に進出、

先任教官として他の教官には「学生の指導は要点を絞り、簡潔に実施せよ」と言っておきながら、企画教官から「補助教官、一言お願いします」と言われると「エエカ〜ツ!!!」と群馬弁とオーバーアクションで指導が始まり、それが本人の知らぬ魔に一言ならぬ一〜七言(?)と延々続く。途中で気がついたM教官いわく「長くなったけど……」とフォローしながらまたしても続く。誰か止めて〜!! 指導は学生にとどまらず、支援隊員にも及ぶ。戦車中隊訓練にF Oとして支援をしていただいた特科教導隊の某幹部、B O Cの「戦車の行動」教育以来本格的にF O戦車に乗り、任務を遂行したのは初めてである。汗びっしょりになりながら何とか中隊長戦車に追従し、凹地に停止した特科F Oに対し、M教官いわく「前にでろ!そこじゃ前方が見えず、観測もできねーだろうが!!!」

基本・基礎はすべて同じ、我々の追求すべき教官の姿がそこにあった。教育終了後、特科F O曰く「いい勉強になりました。あっ、有り難うございました。」と声を震わせて言っておりました。

● 学生の所見に見るM教官の実像

- ① ディスカウントショップで買い物籠に日本酒の一升瓶2本、500mlの缶ビール6本入れ、買い物中のM教官、挨拶すると愛想良く応えてくれた。本当に人の良さそうなお爺さん風の対応が忘れられません。
- ② 「防大の教官になるのは顔の非常に良い人が選ばれるんだよ」と豪語していたM教官、本当にそうなのだろうか?自己満足にしか見えないのだが……
- ③ 「戦車が地雷原を通過するために障害処理をしてくれている施設に対する支援は命を懸けてやれ!!!」厳しく指導したM教官、「生え抜き戦車マン」の言葉に説得力がありました。
- ④ 研修学生とともに大型車の荷台で楽しげに話をするM教官、企画教官が「車長席にどうぞ」と進めても「俺はここがいい」と荷台から降りない。学生の気持ちも少し分かって……
- ⑤ 「部下(戦車乗員)を生かすも殺すも小隊長の責任!!!だからしっかり掌握・指揮せよ!!!」常に視線を学生の視線とし乗員を中心に考える。私はこういう指揮官の下で勤務したい。
- ⑥ とても気さくで楽しく、おおらかで田舎の香りがするM教官、宴の席では終半はいつも寝ていたのが印象的でした。いつもにこやかな笑顔の裏に激務である証が出

ていました。

- ⑦ カミキリみたいな人やなー。でも教え方は人間性があって好きやなー。
- ⑧ 教え上手なM教官、学生の採った行動に対し良いところを見つけそこを学生が照れるくらい褒めてくれる。学生が指導原案と違う行動をとったときでも「そういう方法もある。しかし、今回のこのような状況ではこうした方がよい」と学生の行動を否定するのではなく、各状況によってわかりやすく説明してくれる。自分も部隊等で教育するときはM教官の教育法を見習いたい。

● 総括

「教官に求められるもの」その一つは「後継者を育成すること」二つは「共に戦う者（部下・同僚）の育成」であろう。学校の基本教育という限られた中において、「あのような機甲幹部になりたい」「あの人の下で戦いたい」そう感じさせる人、M教官、彼は全人格をもって常に学生や職員と真っ正面から取り組んでいる。

人（社会人）として、上級者・先輩として信頼される教官、立場を自覚し、常にけじめをつける勇気を持っている教官、富士学校機甲科部から全国の部隊に誇れる教官である。（彼の直接の上司である下園訓練班長の言）

彼こそは、機甲科部訓練教官、森田俊之2佐である。何処やらに栄転との噂もあり、寂しくなりそうだ。彼に続く者の続出するを期待しよう。